

通信

NO. 129
2023年10月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目
33番11-702号
☎092-982-5177

今月のスケッチ

デッサン



チャーチル会博多のデッサン例会に参加した。こんな時間をとって、ゆっくりとリフレッシュできた。

スタ コラ

コンプリメント ～褒める技法

新開よしこ

旅先で、墨をするというアクティビティに参加しました。硯からの懐かしい香りに、

書道教室に通っていた小学生の頃を思い出しました。色紙が準備され、その墨で書いた作品を持って帰れるというお土産付きです。

考えることがたいそう苦手になった86歳の母が、「なんて書く？」と聞いてきます。

自分で考えたらいいのにと思いつつ、当たり障りのない言葉を探し「いつもありがとう、って書くよ」とこたえると、母も同じにするとのこと。

下書き用の半紙で練習をし、いざ色紙に。私は、下手を隠すために左手で大きく書き、まずまずの出来と納得。

70年ぶりぐらいではないかと思われる母も、1枚の色紙に「いつもありがとう」を二つも書いて満足そうです。

色紙を見比べて「私の方がうまいね」と、自画自賛の母。すかさず「すごい、上手！やるね！」と大きく褒めてみました。

それが嬉しかったようで、「楽しかったね～」と何度も繰り返していました。

臨床心理学では、コンプリメントという褒める技法があります。相手の話したことや考えを肯定的・支持的に評価することです。

書道の出来に満足し、「私の方がうまいね」と言ったことを、「その通り！すごく上手！」と認められ、母の満足度も急上昇したのかもしれません。

コンプリメントには、満足

中秋の名月

この月は十六夜



今年の中秋の名月は、本当の15夜で満月。“お月見をやる”とのお誘いを受けて参加した。

料理の得意なスタッフの手料理と持ち寄った酒や団子で、楽しんだ後、呑むだけでなく、と趣向を凝らして句会を提案。1句読んでみた。

●○○○○●○○○○●○○○○●○○○○●○○○○●

のいく未来を作る原動力となる資源に気付かせる効果があるとされています。

母も、まだまだやれると思ったかもしれませんが、忘れてしまう可能性大ですが、もうしばらく楽しい時間を一緒に過ごせそうな気がします。

この時に感じたことは、できていたことが少しずつできなくなる母に厳しくなるのは、娘だからという甘えかもしれないということ。

身内との対話の中にもセラピスト魂と「いつもありがとう」の気持ちを持って、母の応援も頑張ろうと思えた旅先での出来事でした。

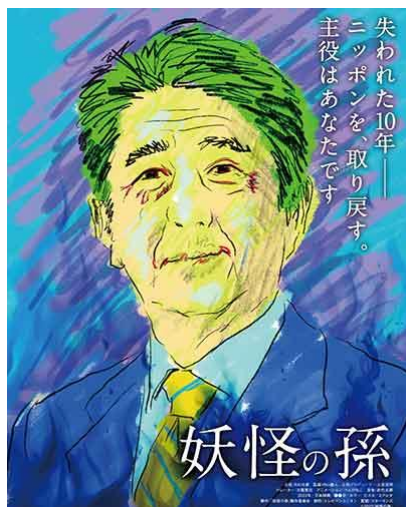
満月や
そうだ
喜寿まであと二年

信夫



映画大好き
の山ちゃんが、毎回、
自分の言葉
で執筆しま
す。

妖怪の孫



監督:内山雄人
ナレーター:古館寛治

安倍晋三とは、いったい何者であったのか。この国に遺したものは何だったのか…

様々な関係者からの衝撃的な証言や風刺絵本とともに、マスメディアが描くことを避けて来た、安倍政治を“今まさに”徹底検証する”ドキュメンタリー。

歴代最長の在任期間となった故安倍晋三元総理。タカ派的な外交政策と”アベノミクス”に代表される経済政策を行い、高い人気を誇った半面、物議を醸す言動やスキャンダルのたえない人物だった。

長期政権下、日本は分断と格差が広がり、選挙に勝てば

～問題も疑惑も忘れ去られるという悪習が政治に根付いてしまった。

ドキュメンタリーのなかで、故安倍晋三氏の幼少時代から政治家になるまでを知る人物の証言をはじめ、現役官僚の現場状況の証言、そして、自民党の現役の大臣をはじめ、「憲法は国民が守るもの」と認識している国会議員が、多数いると言う事に驚きと、国会議員がこの程度の認識かと言う、失望を感じた。

日本の現状がどうなっているのかが明確になります。是非このドキュメンタリーを一人でも多くの人達に観てもらいたい。…

くまさんのコンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

2024年採用は売り手市場 自治体職員採用も影響

株式会社リクルートの研究機関・就職みらい研究所によると、2024年卒就活は、コロナ禍からの経済活動の再開や人手不足から、学生優位の「売り手市場」の状況が続くが、就活の早期化や長期化している、としている。

自治体の職員採用試験は、この時期に集中しているが、

自治体の総務・人事担当者の頭を悩ませる事態ともなっている。

こうした状況に、自治体の採用試験も同様に早期化の傾向が強まっている。

また、学生の意識の変化から「内定辞退」の傾向もあり、人材確保のための方策について検討が進められている。

優秀な人材を確保するための模索は続いている。



編集後記



秋晴れの1日。八幡神社の“おくんち”の獅子舞と稚児行列が奉納された。

この“おくんち”は、実家の地域行事で子どもころ参加していた。

かつて、お宮の行事は、男の子だけの参加だったが、女の子も参加する行事と変化していた。

少子化の中で、地域の行事も変化している。

Relationship & Partnership
ビジネス総研

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4-33-11-702

☎092-982-5177 FAX092-982-6170

Eメール kuma@b-souken.com

<https://www.b-souken.com>